

# blood news

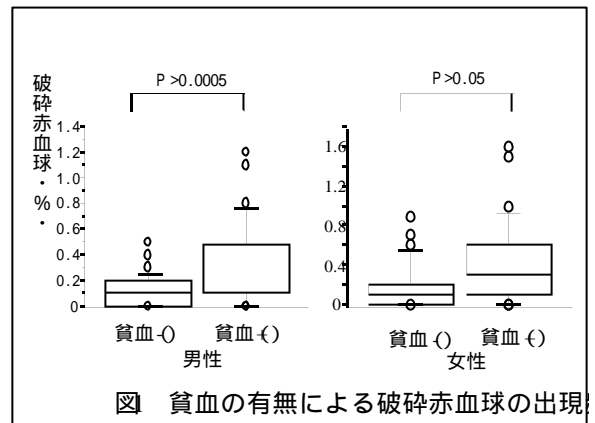
## 今月のテーマ

### “ 破碎赤血球出現について ”

破碎赤血球の出現は、臨床上極めて重要です。しかし、破碎赤血球の出現には注意しなければならない臨床的背景があります。今回は、その臨床的背景についてお話しします。

#### “ 貧血の影響 ”

日常検体において、男女別に Hb 濃度と破碎赤血球の出現頻度を検討しました。Hb 濃度と破碎赤血球の相関図を作製すると男性  $y = -0.037x + 0.659$ ,  $r = -0.424$ 、女性  $y = -0.44x + 0.766$ ,  $r = -0.323$  で負の相

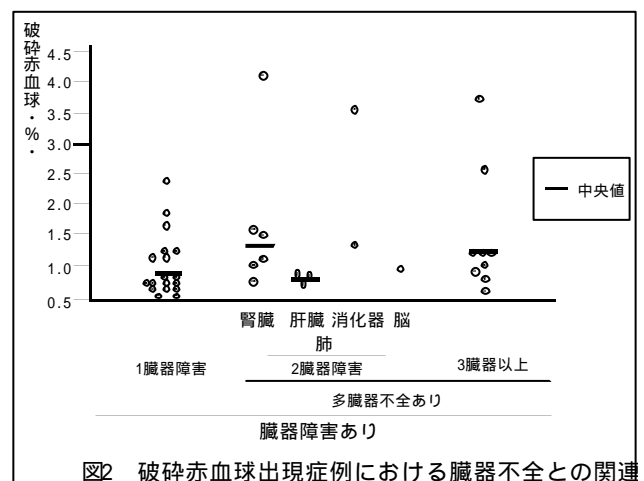



関を示し、Hb 値が低くなるほど破碎赤血球の分布幅は大きくなっていました。また、貧血の有無による出現頻度は、図 1 に示すように、男女とも貧血を有した症例において破碎赤血球の出現頻度が高く、貧血は破碎赤血球出現に強いプラスの影響があることがわかりました。

したがって、貧血症の患者の破碎赤血球には注意が必要です。

#### “ 多臓器不全との関連 ”

破碎赤血球が出現する背景に臓器障害があ





# blood news

り、その臓器によって特異性があるのではないかと考え検討しました。各臓器別による破砕赤血球の出現頻度は、肺に低い傾向がありましたが、その他は中央値が0.8%前後を示していました。また、当院における破砕赤血球の cut off 値は、0.6%以上と設定しています。その0.6%以上出現していた症例において多臓器不全との関連を図2に示します。1 臓器障害よりも2 臓器障害、3 臓器障害と多臓器不全を合併している症例で、出現頻度は高い傾向を示していました。2 臓器障害においては、全例肺に障害があり、その組み合わせが腎臓において出現率に高い傾向がありました。

破砕赤血球は、貧血の影響を受けやすく、かつ臓器障害を合併しているとより出現しやすくなります。慢性腎不全で透析を行っている患者では、破砕赤血球の出現に注意が必要です。さらに、臨床上重症化する多臓器不全の合併を、より早期にとらえるためにも、血液検査室からの破砕赤血球のコメントにも注目してください。